

令和8年度 事務事業評価シート（1）

〔 令和7年度事務事業 〕

一般会計				事務事業分類	A 一般事務事業
事務事業名	学校図書館教育推進事業			事業番号	038-034
担当部署名	教育委員会事務局	局	学校教育部	部	教育課程課

I. 基本情報

事業の位置付け

1	堺市基本計画2025	施策との関連	有・無	戦略	3.将来に希望が持てる子育て・教育 ～Children's future～	施策	(2)子どもの可能性を伸ばし未来を切り拓く力を育む教育の推進
			有	取組の方向性	②新しい時代に必要な資質・能力の育成		
		寄与するKPI	有・無	指標名	—		
	堺市SDGs未来都市計画2021-2025	施策との関連	有・無	指標名	—	目標値	—
			有	現状値	—	目標値	—
		寄与するKPI	有・無	指標名	—	目標値	—

2	関連計画	堺市教育大綱、第3期未来をつくる堺教育プラン		
3	事業開始年度	平成 19 年度	点検対象年度（堺市基本計画2030）	令和 12 年度
4	実施根拠	教育基本法、学校図書館法、学習指導要領		

事業の概要

5	事業の実施主体	本庁					
6	事業の対象	市内全小・中・支援学校				対象数	単位
						138	校
7	事業の目的	本に親しむことをとおして、豊かな心と自ら学ぶ態度を育成できるよう、児童生徒の読書習慣を定着させる。 また、調べ学習や探究的な学びを支えることができるよう学習センター機能・情報センター機能のさらなる充実を図る。					
8	事業内容	学校図書館の読書センター機能、学習センター機能、情報センター機能の充実及び開かれた学校図書館の実現を図るために以下の取組を実施 ■学校図書館の充実に資する人材として、小・中・支援学校に学校司書を配置 ■探究的な学びの実現に向けた学校図書館の活用についての研究 小学校 1 校 ■学校図書館サポーターを小・中・支援学校に回数配置 ■司書教諭及び学校図書館担当教員、学校司書に対する研修の実施 ■学校図書館職員・学校司書による学校図書館への巡回訪問の実施					
	※国・府の基準より上回って実施した内容	—					
9	主な支出先	会計年度任用職員への報酬					
10	公民連携・協働事業	セレッソ大阪との読書推進プロジェクト					

II. 事業目的の達成状況

事業の成果や活動実績の測定

11	成果指標	単位		実績		目標	目標
	「学校図書館等の本を使って調べる活動をよく行っている」と答える児童生徒の割合	%		令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和12年度
			目標値	44	45	46	46
			実績値	32	20		
			達成率	73%	44%		
当該指標を選定した理由	学習指導要領に示されている、「学校図書館を児童生徒の主体的対話的で深い学びの実現に向けた授業改善に生かす」ことを測る指標であるため。						
目標値の設定根拠・算出方法	令和6年度 堺市児童生徒生活・学習状況調査 令和7年度 IRTを活用した堺市学力・学習状況調査						

12	活動指標	単位		実績		目標	
	授業で学校司書等が図書資料を提供した回数（1校あたりの平均）	回		令和6年度	令和7年度	令和8年度	
			目標値	22	23	24	
			実績値	21	23		
			達成率	95%	100%		
当該指標を選定した理由	学校司書等による各学年の授業への図書資料の準備、提供は、児童生徒が学校図書館等の本を活用して学ぶことにつながる指標であるため。						
目標値の設定根拠・算出方法	学校図書館教育実施報告書（年度末に学校から提出）						

令和8年度 事務事業評価シート（2）

事務事業名	学校図書館教育推進事業	事業番号	038-034
-------	-------------	------	---------

Ⅲ. 投入量

事業コスト

※当初予算には、前年度からの繰越分を含む。（単位：千円）

	項 目	令和5年度	令和6年度	令和7年度		令和8年度
		決算	決算	当初予算	決算	当初予算
13	事業費（a）	89,940	95,154	114,610	108,762	120,462
	財 源					
	国支出金	7,794	9,549	11,072	10,694	11,072
	府支出金	0	0	0	0	0
	市債	0	0	0	0	0
	その他（ ）	0	0	0	0	0
	受益者負担金(使用料、手数料等)	0	0	0	0	0
14	人件費（b）	3,240	3,240	3,360	3,360	3,480
	一般財源	82,146	85,605	103,538	98,068	109,390
15	年間経費（c）=(a)+(b)	93,180	98,394	117,970	112,122	123,942

事業費の内訳

（単位：千円）

	項 目	年度		事業費	うち 一般財源	項 目	年度		事業費	うち 一般財源
		R7	R8				R7	R8		
16	事業費内訳	会計年度任用職員報酬		70,382	70,382	学校図書館サポーター謝礼金等	32,081	21,387		
		R7	R8	78,343	78,343		33,489	22,417		
	会計年度任用職員通勤費等	2,938		2,938		研修講師謝礼金	46	46		
		R7	R8	8,368	8,368		152	152		
	学校図書館職員報酬	2,688		2,688		研修会場等借上料	8	8		
		R7	R8	0	0		100	100		
	学校図書館職員期末勤勉手当	555		555		研修会用消耗品費	10	10		
		R7	R8	0	0		10	10		
	学校図書館職員通勤費等	54		54						
		R7	R8	0	0					

Ⅳ. 事業の効率性

単位当たり経費

	区 分	単位	令和6年度	令和7年度
17	①	授業で学校司書等が図書資料を提供した回数	2,835	2,720
	②	上記①にかかる年間経費	98,394	112,122
	③	単位当たり経費（②÷①×1,000円）	34,707	41,221
	算出についての説明等		学校図書館教育推進事業に係る学校図書館活用報告書	

Ⅴ. 評価

費用対効果に係る所見

18	・学校司書の全小中支援学校への配置により、児童・生徒が利用しやすい学校図書館へと環境整備が進み、開館日数は令和3年度に比べ、小学校で1,049回（1校あたり11.4回）、中学校で74回（1校あたり1.7回）増加した。
	・授業で学校司書等による図書資料の1校あたりの平均提供回数は、小学校で1校あたり1.2回減少し、中学校で0.6回増加した。司書教諭や学校司書を対象とした研修において、学習センター機能・情報センター機能の充実に重点を置き、学校図書館を活用した学習の事例紹介や、年間指導計画づくり等のグループワークを実施する必要がある。
19	・IRTを活用した堺市学力・学習状況調査における「学校図書館等の本を使って調べる活動をよく行っている」の質問に対する肯定的回答率は令和6年度と比較し12%減少した。全体的な傾向として、小学校3年生から学年があがるごとに肯定率は低下し、特に中学校の調べ学習における図書館離れは顕著である。また、学年ごとの経年比較では、小学校4年生・5年生・6年生、中学校1年生・2年生の全学年で肯定率が低下しており、特に小学校において大きな低下が見られる。これまで、肯定率の高かった小学校3年生が調査の対象外となったことも肯定回答率の低下の要因と考えられる。
	・1人1台パソコンの配付により簡単に検索できるようになったことが要因の1つだと考えられるが、紙とデジタルのそれぞれのよさをこどもが理解し、必要に応じて情報源を選択し、使い分けの力の育成が必要である。今後は、探究的な学びの実現に向けた学校図書館の活用についての研究実践を発信し、学校図書館を活用した学習の推進に努める。

KPI等への寄与（基本計画等のKPI・取組の方向性や事業の目的の達成にどのように寄与したか）

19	本事業は、読書センター・学習センター・情報センターとしての学校図書館の活性化を図ることで、豊かな心の育成や総合的な学力の向上に寄与する。また、SDGsターゲット4-6の「子ども読書活動の推進」の達成に向けた取組となっている。
----	--

令和3年度からの実績等を踏まえた事業の必要性・有効性に係る所見（前年度の事務事業評価で点検対象年度を令和7年度とした事業のみ記載）

20	必要性	■ 高い □ 低い	本事業は、学校司書の全校配置等により学校図書館の環境整備が進み、読書活動や学習基盤の充実に寄与しており、有効性は認められる。一方で、図書館を活用した調べ学習の割合は低下しており、特に中学校での活用減少が課題である。
	有効性	■ 高い □ 低い	